

後期が始まりました

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、そして勉学の秋

10月12日、後期の始業式が行われ、宮井校長より後期に向けての励ましの訓話があり、その後、9月以降好成績を収めたクラブ等の表彰伝達がありました。

五角（合格）鉛筆登場

3年生はファイナルステージを迎えて、緊張感も高まってきた。現役は最後の最後まで、試験の前日、当日まで伸び続けることを信じて、あき



らめることなく粘り強く努力を続けて欲しいと願っています。しんどい時の何とか頼み。五角形の合格鉛筆（3年生限定）も進路指導部前に近日中に登場します。人事を尽くして天命を待つ。すばらしい天命が下ることを期待しています。

生徒会長に兼平章範君、副会長に堅山萌さん



始業式の後、生徒会役員改選が行われ、立会演説と応援演説が行われ、両名とも海南高校への熱い思いを堂々と全校生徒に語りました。その後の投票で信任され、新しい生徒会執行部が動き始めました。

涙の完歩 第27回健脚遠足

10月22日（金）曇り時々晴れ

藤白神社から湯浅駅までの約25kmを歩く健脚遠足が行われました。かつては高野山から登山口までの遠足でしたが、現在は歴史文化遺産である熊野古道の3つの峠を越えるハードな遠足です。1年生全員が参加し、今年で27回を数えます。今年は9時に学校を出発し、先頭は12時35分にはゴールの湯浅駅に到着するという驚異的な早さでした。最後尾の到着も昨年より1時間早い15時30分。助け合ったり、感動の涙があつたりと、思い出に残る一日で、全員無事に元気に完歩しました。



静波会の戦いは？

サムライブルーに身を包んだ海南チーム。10月3日、和歌山西高等学校で開催された和歌山県PTA連合会のソフトボール大会は下津チームを核に補強



選手を入れて臨みましたが、星林高に勝利するも準優勝の桐蔭チームに惜敗。そして10月24日に海南一中で開催された海南市PTAソフトボール大会は、宮井校長の膝と腰の痛みに耐えながらの熱闘も及ばず、残念ながら予選リーグにて敗退。しかし、終始笑い声の絶えない、親睦と言うにふさわしいスポーツ大会でした。伊藤会長を始め選手の皆様方、お疲れさまでした。ありがとうございました。



坪井さんが定年退職

海南高校で約20年間、主に校務員として勤務された坪井克子さんが定年退職されました。海南高校の生き字引的な存在で、海南高校を心から愛し、また海南高校からも愛された方でした。最後の日の朝、ご挨拶をいただき、その後坂本先生より花束の贈呈がありました。笑顔と涙のお別れのひとときでした。長い間お疲れさまでした。



日本学生科学賞 入賞 中央審査へ



科学研究の成果を表彰する「第54回日本学生科学賞」の県審査が22日に行われ、本校科学部の、準絶滅危惧種に分類されている多肉植物「ツメレンゲ」の分布の研究が県議会議長賞に選ばれ、11月13日から東京で開かれる中央審査に出品されました。SSHポスター発表、日本植物学会発表に次ぐ入賞で、中央審査結果が楽しみです。

調査研究メンバーは部長の市川研太君（2年）、南川紘輝君（2年）、中谷崇人君（1年）の3人です。

11月の予定

- 1日 身だしなみ指導（～5日）
- 3日 模擬試験（1, 2年全員）
- 6日 学校説明会
- 6日 マーク模試
- 9日 生徒大会
- 16日 人権講演（1年）かたつむり作業所訪問
- 17日 SSH特設課外授業（～19日）
- 20日 センタープレテスト
- 22日 考査発表
- 29日 1, 2年後期中間 3年学年末考査（～12/3）